



FRP内面補強工法 (光硬化) (熱硬化)

まず施工機

特許 (機材、施工方法) 取得しております。

| 公共ますの止水対策用としての内面補強工法

種類: 丸ます
※角ますは、要相談

管径: φ350、φ400
φ450、φ500

補修幅: ①標準高さ 40cm
(それ以上は重ね貼り)
②取付管口、排水管口
奥行き 7cm

硬化方法: 熱硬化、光硬化

目的: ①土砂の流入防止 (寒冷地)
②木の根侵入、浸入水防止のため
③開削工事ができない場所



熱用施工機



光用施工機



ジャッキを用いた施工方法



ウエイト(700kg)を用いた施工方法

木の根除去 → まず補修

●まず改良時に開削費用と同額で補修可能です。

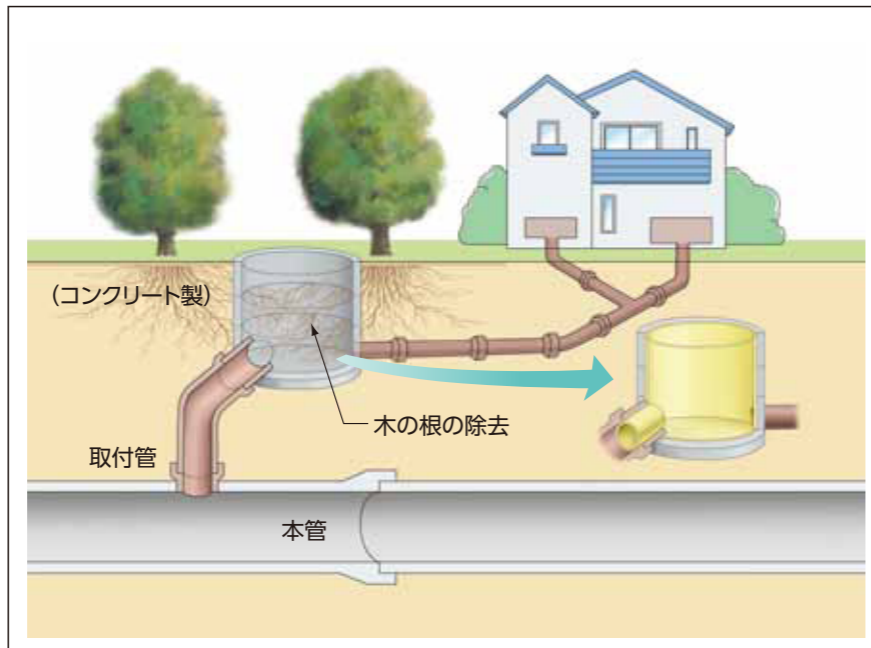
木の根により、まず使用不可



木の根を除去



防止のため、まず補修を行う (追跡調査により、5~10年間の補修効果が出ています)。



いろいろなまず形状 (インバート部分) の施工可能

一対形状



曲がり形状



Y字形形状



まず内、取付管口、排水管口部分の浸入水防止のため、木の根防止のため

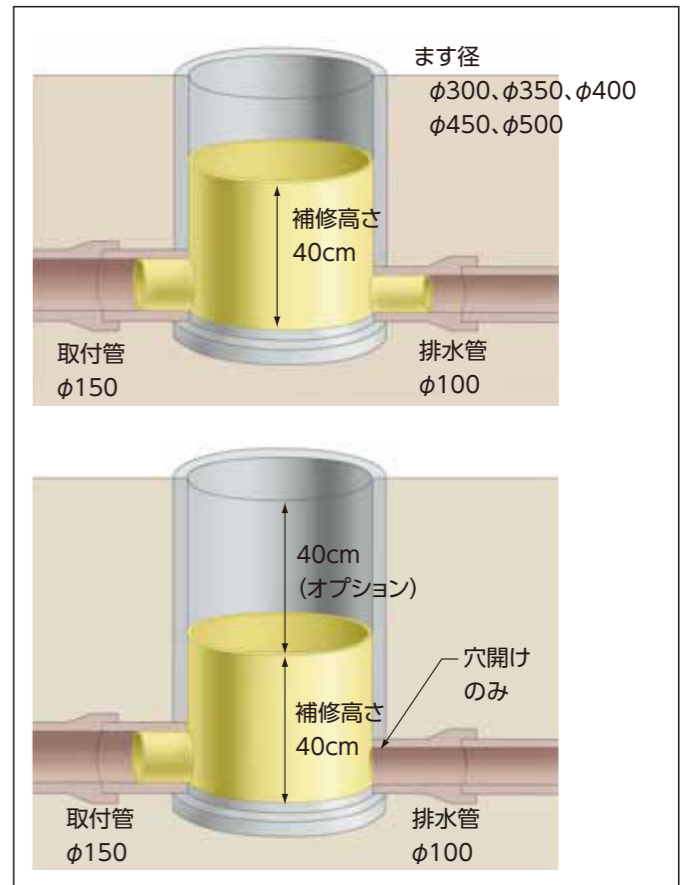


まず施工機 (熱、光) による施工

排水管口までの施工
(例) φ350-150-100

取付管口までの施工
(例) φ350-150
排水管口側はカッターで
穴開けのみ

注) 補修高さ40cm以上は、本管施工機に追加補修により80cm、100cm等可能です。



L型まず補修 (φ500 (φ350)) 特殊形状



φ500 (φ350) まず、円すい型ゴム形状



円すい型部分の施工可